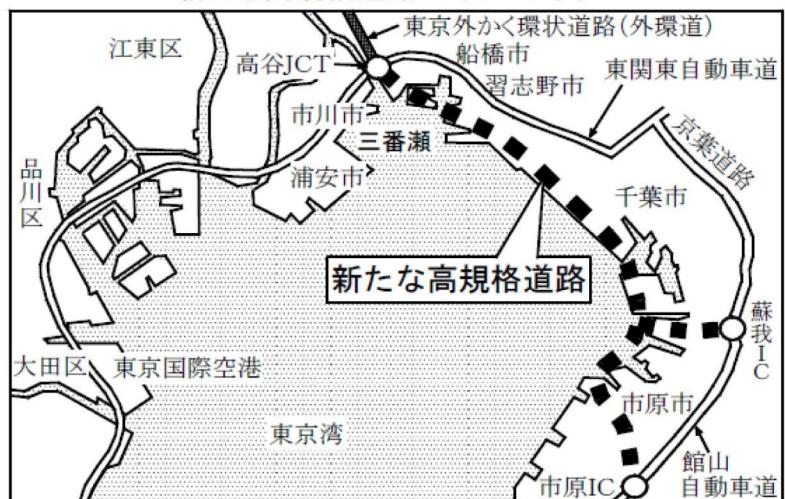


国と千葉県が「第2東京湾岸道路」推進へ

国土交通省や千葉県などで構成する「湾岸地区道路検討会」が5月26日、第2湾岸道路構想の第一段階ともいえる新たな高規格道路について基本方針をまとめました。



県湾岸地区道路検討会がまとめた 新たな高規格道路のイメージ図



(検討会資料より「三番瀬を守る連絡会」中山敏則氏作成)

広大な干潟が広がる三番瀬。

二月一日



ます。一方、県が第2湾岸道路のためのための用地を確保している場所もあり、それをつなぐと三番瀬を横切るルートとなります（左上図参照）。

しかし、三番瀬の保全を求める声が大きく広がり、2001年9月、県は三番瀬埋め

ますは三番瀬を避けた東ルートから

本来なら、このとき第2湾岸道路計画も白紙にすべきでしたが、県は建設に固執し道路計画は残されることになつてしましました。

それから20年後。いまあらためて道路計画が動き出そ
うとっています。

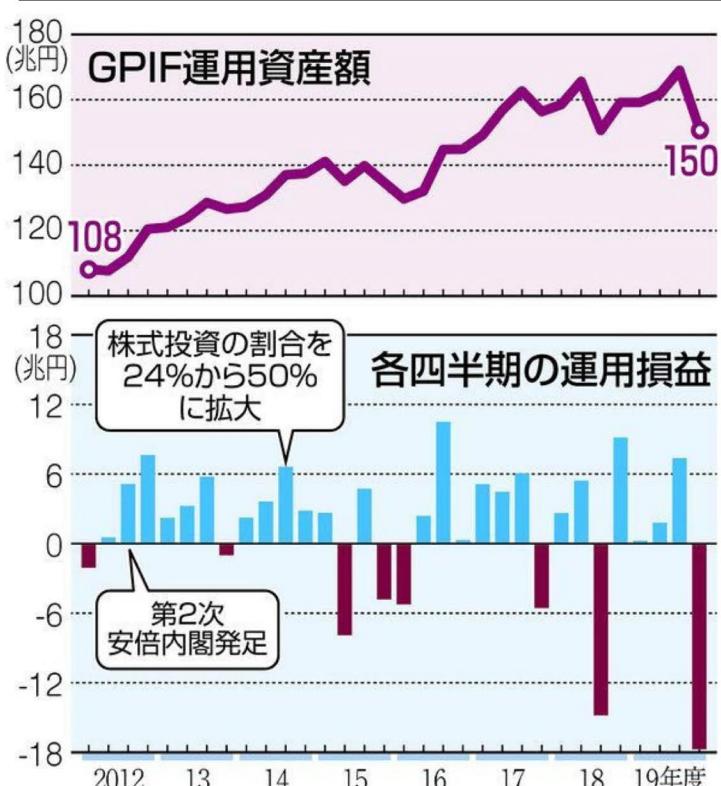
立て計画を白紙撤回しました。本来なら、このとき第2湾岸道路計画も白紙にすべきでしたが、県は建設に固執し道路計画は表すものにしてしまって

立て計画を白紙撤回しました。

よひ市原インターまでのルートです（左下図参照）。

県は第2湾岸全体の早期着手を要望

を悪化させます



株安で年金運四半期(1~3)

う株安が大きく響いた結果で、2019年度1年間でも8兆2831億円の赤字となりました。これはリーマンショックが直撃した2

その中の赤字 大の損失

」**推進へ** よび市原インターまでのルートです（左下図参照）。このルート 자체は三番瀬にかかりませんが、巨大な高規格道路が三番瀬と谷津干潟の間に造られれば、渡り鳥や自然環境への影響は避けられません。しかも長期にわたる工事期間中の騒音や振動も環境を悪化させます。

しかも県は、三番瀬から東京方面に向かう西側についても、引き続き国に要望していくとしており、来年度の国への予算要望にも「第2湾岸道路の早期具体化」が盛り込まれています。今回の基本方針

県は第2湾岸全体の早期着手を要望

月30日、三番瀬を守る連絡会などが県にたいして抜本的な見直しを要請しました。参加者は「渋滞緩和は既存道路の改良で進め、三番瀬の自然環境を将来に残すために道路計画を抜本的に見直すべき」と求めました。

の運用先に占める株式投資の割合を24%から50%へと2倍に引き上げていました。この変更は「年金の財源で株を大量に買って、株価を引き上げるために行われたもの」と指摘されています。

国民が支払っている年金保険料は老後の生活の糧を得るためのものです。それを大量に株に投資するのですから、誰のための政治かは一目瞭然です。